

求められる生成AIに対する制度



月尾 嘉里

古代から虚偽の情報は社会を混乱させてきた。最近の生成AIという情報技術の進歩も新規の問題を発生させている。新技術が社会問題をもたらすと、社会は解決する制度を後追いで作成してきたが、現状では生成AIが発生させる社会問題を制御する制度は存在しない。

今年1月に逝去された日本工芸の大家である森政弘東京工業大学名誉教授は、1933年からNHKが

衆を扇動する人物を意味する言葉「デーマゴーゴス」が派生した。

主催する「全国高等専門学校ロボットコンテスト（高校ロボコン）」を誕生させた学者であるが、広範な視点から技術を俯瞰して「万物は利用方法によってメスにもなるがドスにもなる」という技術の本質を喝破した名言を発言しておられたる。

このメスにもドスにもなる技術の代表は情報で、古代から虚偽の情報は社会を混乱させてきた。この虚偽の情報を発信する人間は古代ギリシャの言葉で「デマゴーグ」と名付けられてくるが、その語源は民衆を意味する古代ギリシャの言葉「テモス」で、そこから民

衆を扇動する人物を意味する言葉「デーマゴーゴス」が派生した。

それが社会に重大な影響をもたらした事例は紀元前5世紀のギリシャでアテナイとスパルタという二大都市国家が対立したペロポネソス戦争である。アテナイの軍隊を指揮したクレオポンという人物はスパルタとの和平に反対したデマゴーゲで、民衆を扇動して戦争を継続し、結果としてアテナイは地域での霸権を喪失してクレオンも戦死した。

日本でも間違った情報が原因となつた騒動は多数ある。1923年に発生した関東地震では朝鮮人が暴動を開始したとの間違った噂話が流布し、相当の人数が殺傷されるという事件が発生しているし、人的

被害にはならなかつたが、1973年には石油危機の影響でトイレットペーパーが不足するという噂話による騒動が発生したこともある。

て走行する自動車が登場して不慣れな歩行者が自動車事故に遭遇し、自動車の速度規制をする赤旗法が制定されたという事例もある。このように新規の技術が社会問題をもたらすと、社会は解決する制度を後追いで作成してきたが、現状では生成AIが発生させる社会問題を制御する制度は存在しない。未知の大海上で航海している状況であるが、次々と登場する情報技術、とりわけ人間の本質に関する生成AIに対処する制度の検討が必要である。

採択した。イギリスのEU離脱国民投票とアメリカの大統領選挙戦に関する正確ではない、場合によっては意図して間違えた個人が発信する情報が氾濫し、それを「ポスト・トゥルース」と表現したのである。

つきお・よしお 1942
年生まれ。東京大学工学部
卒業、東京大学教授、総務
省総務審議官などを経て、
現在は東京大学名誉教授。